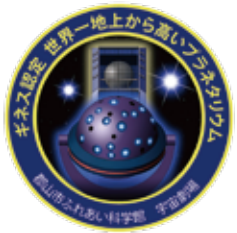


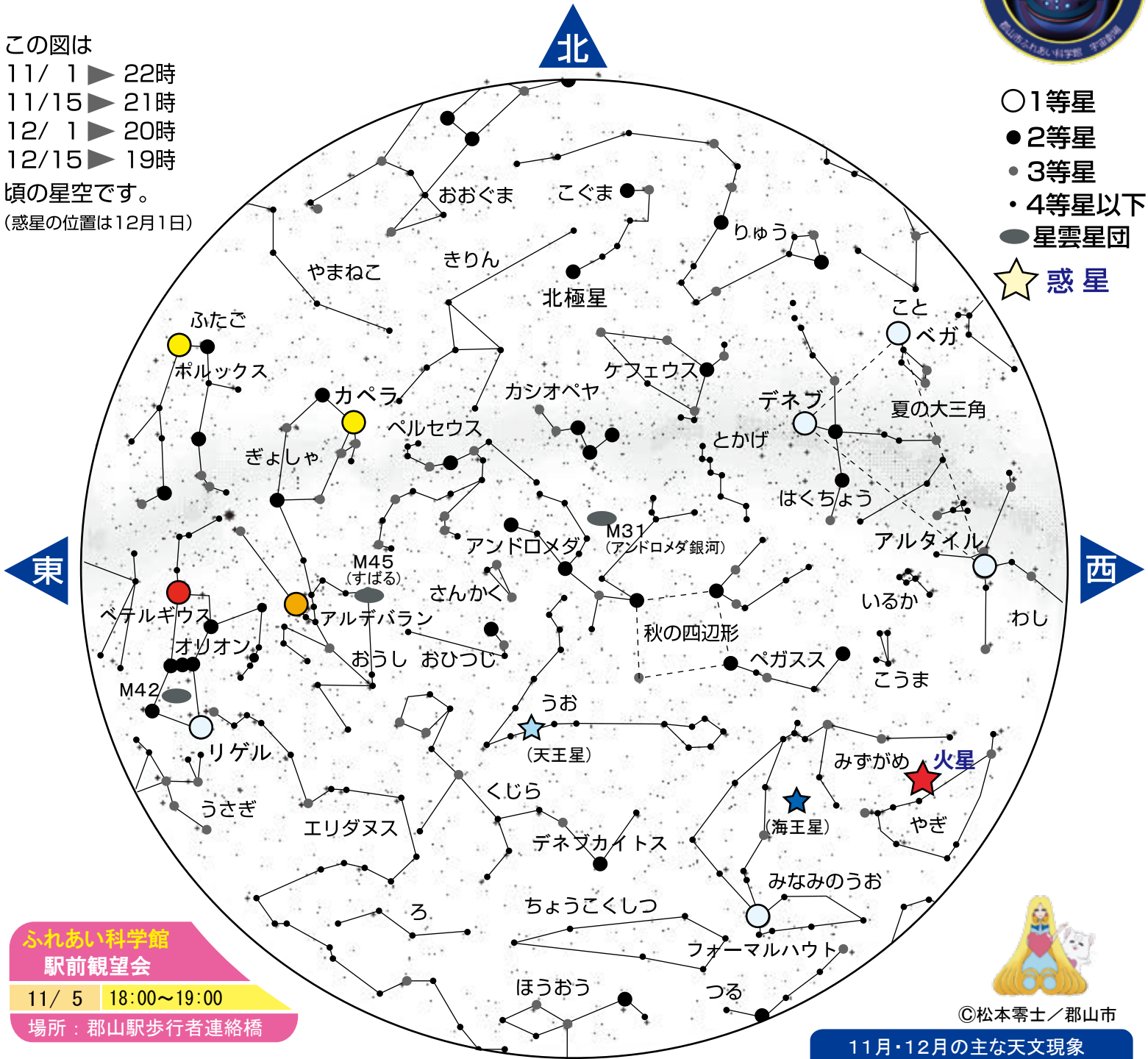
2016年

11月▶12月の星空



この図は
 11/ 1 ▶ 22時
 11/15 ▶ 21時
 12/ 1 ▶ 20時
 12/15 ▶ 19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は12月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★ 惑星



ふれあい科学館
駅前観望会

11/ 5 18:00~19:00

場所：郡山駅歩行者連絡橋



©松本零士／郡山市

郡山の日の出・日の入	
11/ 1	6:03 16:41
11/15	6:17 16:29
12/ 1	6:34 16:21
12/15	6:45 16:22

月の満ち欠け	
新月	11/29, 12/29
上弦	11/ 8, 12/ 7
満月	11/14, 12/14
下弦	11/21, 12/21

※上弦、下弦は半月です。
 ※天王星、海王星は肉眼では見えません。

11月・12月の主な天文現象	
11月上旬~中旬	おうし座南北流星群が極大
11/17	しし座流星群が極大
12/14	ふたご座流星群が極大
12/21	冬至

この時季の夜空を見ると、頭上に「秋の四辺形」があります。秋の星座をたどる目印となる星の並びで、そこから北東の方向には、エチオピア王国の王女であるアンドロメダ座が見つかります。星がよく見えるところでは、星の並びがアンドロメダの頭文字「A」のように見えてくるでしょう。さらに、アンドロメダ座の北側には、ぼうっとしたシミのようなものが見えます。これがアンドロメダ銀河です。

アンドロメダ銀河は何千億もの星が集まって渦を描く渦巻き銀河です。アンドロメダ銀河は私たちの銀河系の近くにある銀河ですが、その距離は230万光年もあります。これは、アンドロメダ銀河まで光の速さで230万年かかることを意味しています。また、アンドロメダ銀河には周りの銀河を取り込んだ形跡が見つかっており、現在も近くの銀河を引き寄せています。さらに、数十億年後には銀河系と衝突して1つの銀河になるのではとされています。このように、宇宙のあちこちで銀河同士の衝突が起こっており、それによって銀河の姿も変わってしまいます。11-12月のプラネタリウム一般番組では、銀河の姿やダイナミックな銀河同士の衝突の様子を今夜の星空とともにご紹介します。この機会に実際の星空と合わせて壮大な宇宙に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。外で星を見る際は、風邪をひかないよう十分に暖かくしてお出かけください。

